

豊丘村長 下平喜隆 殿

令和3年度 豊丘村行政評価委員会 意見書

豊丘村の令和2年度決算に基づく総務関連事業の行政運営や施策の実施状況等に関して、豊丘村行政評価委員会において審議した結果、別紙のとおり施策の方向性の評価を行い、併せて施策に対する意見等が出されましたので、予算編成や企画立案等、行政執行に可能な限り反映してください。

なお、当委員会から出された意見に対し、委員会の場で村より返答があった内容に関しても、必要なものについては記載してあります。

令和4年1月12日

豊丘村行政評価委員会

委員長	西元	敏明
副委員長	篠塚	実
委員	木下	進
委員	木下	正樹
委員	片桐	林三
委員	片桐	明
委員	北澤	百合子

令和3年度 豊丘村行政評価委員会 意見書

【成果の方向】 A…向上、B…維持、C…減少

【コストの方向】 A…増加、B…維持、C…減少

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課	企画財政係	1	土地利用計画	<p>遊休農地が増加している状況があるが、対策については計画の中で触れられていない。また、開発が進む下段の新田地区以外の対策についてはどうか。</p> <p>今後、大きな開発が予定されている場所はあるか。</p>	<p>遊休農地については、施策5「遊休農地対策」で触れられている。</p> <p>道の駅南側の農地に、ドラッグストアの出店が予定されており、現在農振農用地の除外手続中である。道の駅南側については、村としての開発計画はなかったが、ありがたいことに出店の話が出た際、土地所有者から村に早い段階で相談をいただいた経緯があった。</p>	A	B	11月4日
				<p>中段地域の農地では、条件の良い農地以外はなかなか耕作者が見つからない状況がある。一方で、下段地区では、条件の良い農地は開発で宅地や工場、商業施設になってしまう。</p> <p>下段地区の今後の土地利用については、どのようにしていくのか村の方針を定めてほしい。</p>	<p>豊丘村では、数年前から県営中山間整備事業(県の事業)により水路や農道の改修工事を行っている。このうち、竜東井の改修では、下段の新田地域一帯の農地が受益地となっているが、この事業により完了公告(R4年末予定)から8年間は開発できないこととなる。そのため、開発を進める場所と農地として守っていく場所のゾーニングを早急に進め、リニア開業後を見据えた開発が今後可能となるよう計画を立てていく必要がある。</p>			11月25日

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日	
						今後の施策の方向性	コスト		
総務課	企画財政係	1	土地利用計画	道の駅の誘客で、豊丘村は自然豊かな景観を売りにしていることもあり、せめて道の駅周辺だけでも農地を残しておくべきと考え。農村景観を期待して観光客が来村しているのであれば、道の駅周辺で農地を残しておくのが守るべき景観ではないか。 優良農地は優良宅地でもあるため、ある程度開発エリアを絞らないと、全て高森の工場団地のような景観になってしまうおそれがある。			A	B	11月25日
総務課・産業建設課	企画財政係・農政係	7	人口増・定住対策	農地が作り出す自然豊かな景観を守っていくには、その農地を維持していく担い手の確保が重要である。現在は大規模農業により効率的な農業経営を進めているが、小さな農地を耕作している農業従事者は高齢化している。棚田のような霧細農地を維持していくためにも、公費を入れてでも担い手を確保していく取組を考えてほしい。 ワーキングホリデーをきっかけに就農移住となった場合、農業経営が軌道に乗るまでの間、何らかの支援策はあるのか。	JAみなみ信州内の「担い手プロデュース」と共同で事業展開している。まずは農業に興味がある方に豊丘村に来てワーキングホリデーで農業を体験してもらい、覚悟をもって希望した人を地域おこし協力隊として村で採用、JAで2年間農業研修(市田柿、きゅうり)を積んでもらい、農家として独立を目指す。研修期間中は協力隊として報酬を受け取れ、その分は特別交付税として村に措置される。就農後は農水省の就農支援補助金が活用できる。この制度を使って、これまで5人が就農している。		B	B	11月4日
				令和元年度で移住された方の地区はどこか。また、山間地区への移住の希望はあるか。	令和元年度で移住された5世帯は、河野や林原の空き家を活用し移住されている。 山間地区は希望はあるものの、地域でやっていける人か見極めが難しい。面談等を実施し、空き家サポーターとも連携をとりながら進めていく。				

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課・産業建設課	企画財政係・農政係	7	人口増・定住対策	<p>地域おこし協力隊で入ってこられた方もいると思うが、この施策での記載はあるか。</p>	<p>地域おこし協力隊については、この施策の中では触れられていない。 豊丘村では、6次産業化や観光振興、就農研修生含め、これまで30人程を受け入れており、現在は活動期間終了後に地元へ定着してもらえよう、就農希望者をメインに受け入れを行っている。</p>	B	B	11月4日
				<p>リア工事に係る移転で豊丘村にきたいといった話はあるか。</p>	<p>リア工事に係る移転については、飯田市等が代替地を用意するため、豊丘村にはそういった要望は来っていない。</p>			
総務課	企画財政係	8	地域づくり・コミュニティの推進	<p>山間部よりも通勤等に便利な地区の方が良いのか。</p>	<p>宅地造成事業は、地元からの要望があつてから村が事業着手する。現在行われている林原地区の後は予定がないため、是非各地区でご検討いただきたい。 宅地造成するにも地元で了解が取れていることが必要であるため、自治会、区を通して要望をいただきたい。</p>	B	B	11月4日
				<p>地域おこし協力隊の自治会加入状況はどうなっているか。</p>	<p>リタイアして田舎で暮らしたいという希望を持った人もおり、そのような方は眺望が良く静かな立地を望むため、必ずしも下段に限られるものではない。地区でもご検討いただきたい。</p>			
総務課	企画財政係	8	地域づくり・コミュニティの推進	<p>都会から移住してきた人は、田舎のコミュニティに馴染みづらい。村も地域も対応を考えていかなくてはいけない時代と考える。</p>	<p>基本的に、隊員は募集の際に自治会に加入することを条件としている。一部、勤務時間等の都合で地区への活動に参加することが難しい隊員がいることを承知している。</p>	B	B	11月4日
				<p>山間部よりも通勤等に便利な地区の方が良いのか。</p>	<p>都市部からの移住者は、自治会活動として道づくり等の出労やおまつり等の付き合いを嫌がる人もいる。自治会には加入いただき、出不足金等で対応することも将来的には必要となってくるのではないかと。豊丘村としてモデルをつくっていききたい。</p>			

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課	企画財政係	8	地域づくり・コミュニティの推進	<p>道路維持管理作業等は、本来村が行う業務を地区が行っており、道路維持交付金が支払われている。ただ、地区人口の違いから、村の上段と下段では作業に係る負担に大きな格差があると思われるが、そういったことは調査されているか。状況を把握した上で対策をお願いしたい。</p> <p>山間地区への交付金を増やしても、作業に従事できる人数は限られた状況であるため、維持管理業務を村から業者に委託する等の方法を検討いただきたい。</p> <p>山間地の人口減少は急激に進行しているが、理由の1つとして働く場所がないことが考えられる。現在はネットも発達し、サテライトオフィスなど山間地でも仕事ができる時代になっている。地域を交えて研究を進めてほしい。</p>	<p>道路維持交付金は、地域住民への聞き取り調査等により管理区間の長さ等を考慮し、3～4年前に山間地域の増額を行っている。また、山間地区では一人あたりの負担が大きいため、中山間地域活性化交付金を交付し、負担軽減に努めているところである。現状では維持管理費用が足りないということであれば、今後検討していく。</p>	B	B	11月4日
				<p>野田平キャンプ場も京都の企業が指定管理者として運営中だが(R2年度はコロナの影響で利用は少なかつた)、通信状況が良くないことを指摘されている。通信状況を改善するよう検討中である。</p>	<p>野田平キャンプ場も京都の企業が指定管理者として運営中だが(R2年度はコロナの影響で利用は少なかつた)、通信状況が良くないことを指摘されている。通信状況を改善するよう検討中である。</p>			
			<p>村長としゃべらまい会の開催状況はどうか。また、地域の課題点をテーマにした会を開催してはどうか。</p>	<p>R2年度はコロナの影響で集会所が開催されず、お呼びいただいた場が少なかったが、村民の皆さまの多様な意見が伺える機会なので是非呼んでいただきたい。昔は村政懇談会で意見を伺っていたが、出席される人はだいたい同じ人だった。小さな集まりの方が意見も言いやすいと思われる。</p> <p>テーマを絞ったしゃべらまい会も、林原木門地区で開催したことがあり、地区からの要望があれば開催する。</p>				

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課	総務係	9	交通安全対策	<p>セミナーハウス下の道路は通学路になっているが、長期で通行止めになっており、小中学生が迂回路として通行量の多い道路(佐原線)を歩くことになっている。長期で通学路が通行止めになる場合には、安全な通学路の確保をお願いしたい。</p> <p>「止まれ」表示と標識について、管轄はどうなっているか。</p>	<p>「止まれ」の標識と路面標示は、公安委員会が設置したもので、一時停止の法的義務が生じる。一方「止まれ」の道路標示は、交通安全協会が注意喚起のためにペイントしたものになり、停止の法的義務は生じない。「止まれ」表示となっているところでも、危険な状況があれば村から警察に申し出ることが可能であるため、要望があれば情報をいただきたい。</p>	B	B	11月4日
				<p>新聞報道にあったように、通学路の安全点検を実施した結果、豊丘村は23か所の危険箇所が見つかったとのことである。</p> <p>これらの危険個所の状況と、今後の対策方針を教えてください。</p>	<p>県道6箇所、村道15箇所、県道・村道の両方に関わる2箇所の合計23箇所を危険箇所として報告した。うち、県道6箇所、村道4箇所、県道・村道の両方に関わる2箇所の合計12箇所は、道路管理者が本年度以降にガードポール設置等の何らかの対応を実施する。その他の11箇所(通行量が多い道路や広い道への合流地点等)については当面、児童の安全教育の実施等により対応していく。</p>			11月25日
				<p>今年春に山田で発生した火災では、若い団員が機関操作が出来ず上手く水が出せなかった。団員も、職業の勤務形態が昔と異なり夜間や休日に出勤する人も増え、活動が難しくなっている。</p> <p>喬木では協力金や出不足金を徴収しているが、豊丘では消防団に入らなくても良いという空気がある。団員にとって団らん券をもらえるのはうれしいと思うが、もっと入団してもらえような対策が必要である。</p> <p>女性消防団員も増えているが、初期消火や人命救助を行える団員を確保することを考えていく必要がある。</p>		B	B	11月4日

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日	
						今後の施策の方向性	コスト		
総務課	総務係	10	消防組織対策	堀越区で火災があった時は、自主消防が初期消火を行った。	現在、自主消防組織がないのは田村区、林里地区、壬生沢区となっている。 自主消防は、村から活動費等を年35万円交付しているもので、ない地区については立ち上げてもらえるようお願いしている。 先日の消防委員会でも、第2分団は2班少なくする方向が示されており、自主消防組織の重要性が増している。	B	B	11月4日	
				地域防災員はどのような人が務められているか。	各自治会に配置し、慣例的に自治会長にお務めいただいている。				
				地区防災計画は、全ての地区で見直しがきちんと行われているか、きちんと災害時に機能するものとなっているか。見直しが完了していない地区には、村から支援やアドバイスをいただきたい。	地区ごとに、それぞれの地区にあった行動ができるよう作成していただいている。 地区防災計画の見直しは、区長会の中でも話題にしてもらっており、完成した地区の計画を配布して検討を進めていただいている。 完了しているのは半分くらいの地区である。				
総務課	総務係	11	防災対策	災害時備蓄品、避難所備品の今後の見直し、整備期間はどのように計画されているか。 災害はいつ起こるか分からないので、予算の都合もあるとは思いますが早期に整備いただきたい。	備蓄品として、食料品、水、避難所内のテント、マット、毛布を役場庁舎等に備蓄している。今後、必要と思われる避難所内のパターション等については、順次整備を計画していく。整備期間は未定である。	A	A	11月4日	
				河野区では、昨年度防災計画の見直しを行ったが、その中で避難所が足りないという意見があった。村でも区でも整備はしきれない。特にコロナが流行している状況下では、多くの避難所が必要であり、検討が必要である。					
総務課	総務係	12	防犯対策	刑法犯は特殊詐欺の発生件数か。	空き巣等も含め警察に検挙された件数がカウントされている。	B	B	11月25日	

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課	総務係	12	防犯対策	防犯灯の電気代は地区が1/3負担しているとの話であったが、街路灯の電気代はどうなっているか。	街路灯の電気代は村が支払を行っており、そのうち1/3を各地区に請求している。	B	B	11月25日
				防犯灯の点灯時間はどのように制御されているか。	防犯灯本体に明るさを感じて自動で点灯、消灯する装置が付いている。			
				林公園周辺は、周辺が暗くなっても防犯灯が点灯していないことがある。中学生等も公園に遊びに来たりしているので、安全のためにも点検してほしい。	公園内の照明等は土木係と地元区の管理となる。担当課に確認し、対応を促す。			
				地域の連帯感を強め、防犯体制づくりを進めることを課題としているのであれば、地域の連帯感を表す指標が必要ではないか。	施策8「地域づくり・コミュニティの推進」に自治会加入割の指標を設けている。			
				地区内にある街路灯、防犯灯の管理について、修理が必要な場合の分担、連絡先が分かりにくい。	防犯灯は地区の持ち物であるため、地区の管理となるが、修繕費の2/3は村からの補助がある。また、街路灯は村の管理となる。			
				防犯灯の修理や電気料は全額村で負担してもらいたいという希望がある。ぜひ研究していただきたい。	地区内の防犯灯、街路灯の区別については、地区や自治会役員の引継ぎの際に総会資料等に記載するなどして、地区・自治会で住民に周知いただけるとありがたい。			

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課	総務係	31	公共交通機関の整備	<p>村営バスは、ルートや時間が上段地区の佐原や笹久保で乗り降りする子どもたちに合わせて設定されており、中段地区の山田の子どもたちには使いづらく、親が送り迎えをしたり、小学生が40～50分かけて小学校に通学している状況にある。以前からバスが走っている地区は優遇されているとの思いがある。</p> <p>バスが走っていない地区をカバーするため福祉タクシー事業も行われているが、毎回700円の自己負担が発生する上に、病院で処方された薬を薬局で受け取るための途中下車ができない状況である。</p> <p>多額の事業費をかけている事業なので、多くの村民が使いやすいシステムにしてほしい。</p>	福祉タクシーの中継地利用については、担当の福祉係に検討を依頼する。	B	B	11月25日
				<p>高齢者が村営バスを利用する場合、バス停まで行くのが大変な地域もあると思われる。運行ルートや停車場の選定には、地域の要望が反映できるか。</p> <p>民間事業者(パルム)が山間地域で買い物に行くためのバスを運行してくれており、大変助かっている。</p> <p>買い物バスの運行について村は関知しているか。</p> <p>また、事故発生時の乗員の保険等については確認されているか。</p>	<p>区長等で構成されている地域公共交通会議で承認されれば、ルート等の変更は可能である。</p> <p>パルムの買い物バスは村も運行補助を行っている。事故が発生した場合の保険はパルムの責任となるが、保険の有無については把握していないためパルムに確認しておく。</p> <p>(追記:パルムに確認したところ、買い物バスについてはパルムにて保険加入済であるとのこと)</p>	B	B	
				<p>この施策の目的は「手間をかけずに成果を上げる」ことであるか。</p> <p>成果指標も多岐に渡るため分かりにくくなっている。</p>	<p>この施策は、他の施策に当てはまらない事業をまとめていることもあり、非常に雑多になっている。</p> <p>第5次総合振興計画での施策の構成が分かりにくかつたためと反省しており、次期計画ではそのあたりを整理し、分かりやすい構成にしたいと考えている。</p>	B	B	11月25日

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課・税務会計課	企画財政係・広報係・税務係	32	事務事業の効率化	<p>滞納者への対応について、どのような方法がとられているか。どの程度行われているか。</p> <p>基幹系共同化の状況とマイナンバーカードとの関連、今後についてはどうか。</p>	<p>まずは本人に直接コンタクトをとり対応することとなる。個々の事例によって状況が異なるため、対応は様々である。主に預貯金の差し押さえ、給与収入がある場合には給与の支払先に確認と給与の差し押さえを実施することもある。</p> <p>転出された方、外国籍の方やどうしてもコンタクトを取れない方については、長野県地方税滞納整理機構に依頼することを検討する。</p> <p>国保については、通常よりも有効期間の短い短期保険証を発行し、こまめに連絡を取れるようにしている。</p> <p>固定資産税については、相続放棄をしたいという相談もある。ただし相続放棄しても、高額な費用で財産管理を立てる必要があるため、なかなか簡単な話ではない。宅地については、国の法改正によりいずれは国所有にできるという見込みもあるが、農地については放棄されるおそれもある。</p> <p>基幹システム共同化は、H28年度より佐久穂町、川上村、立科町、長和町、平谷村、根羽村、下條村、売木村、泰阜村、生坂村、木島平村、飯綱町、小川村と豊丘村の14町村で進められている。サーバは県内のデータセンターに設置され、各町村が専用回線で接続しシステムを利用する。システムやサーバを共同で利用することで、各町村が独自で調達した場合より安価で利用できる。</p> <p>マイナンバーカードの発行自体は、窓口で申請を受け付け国が発行を行うため、直接的なシステムの利用はない。</p> <p>今後、国の自治体DXの推進に伴い、国が規定する標準仕様に統一されたシステムを、国が認めるガバメントクラウド上で利用する方針が示されているため、豊丘村でも令和7年度末までに移行する必要があると考えられる。</p>	B	B	11月25日

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
				ふるさと納税の状況はどうか。	<p>最も多い返礼品が桃で、全体の2割を占める。国の指針により寄附額に占める返礼品の価格を3割に抑える必要があるため、令和3年度に寄附額の設定見直しを行った。値上げという形になったため、寄附件数は令和2年度より減る見込みである。</p> <p>寄附額の5割は返礼品も含めた事務経費で使われるため、村の純収入としては寄附額の5割(R2年度の場合は約4億円)となる。また、返礼品は果物が多いため殆どが翌年度の発送となる。</p>			
	企画財政係・広報係・税務係	32	事務事業の効率化	村CATV移行の状況はどうか。	<p>飯田CATVの光キャストビジョン移行については、11月までに1110件のお宅を訪問し、1025件から申込を受け付けた。</p> <p>光キャストビジョンに移行しない85件のうち、インターネットを利用しない世帯及びauひかりを利用する世帯には、村負担で地デジアテンテナを設置する。コミュニティ光を利用する世帯には、コミュニティ光でテレビ視聴が出来るよう村負担で回線工事費を助成する。</p> <p>飯田ケーブルテレビでは光キャストビジョンへの移行は1200件程と見込んでおり、令和4年6月までに各世帯に選択いただくこととしている。</p> <p>防災行政アプリは、音声告知端末に代わり、各家庭でスマホやタブレットを使い村の情報を取得できる手段として構築中である。</p> <p>村の自主放送番組については、12月からインターネットでの配信を開始する予定となっている。</p> <p>独自のCATV網を持つこと(公設公営)は、布設や維持に関して継続的に多大な費用がかかるため、民営民営に移行することで、これまでかかっていた維持管理経費を他の事業に回せることとなる。</p>	B	B	11月25日

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課・税務会計課	企画財政係・広報係・税務係	32	事務事業の効率化	村の独自の回線がなくなった場合、今ある電柱や電線はどうなるのか。 村からのお知らせ(音声放送)もなくなるのか。	移行後、1年くらいかけて電柱とケーブルの撤去を行うしていく。 音声放送は、令和5年1月で中止となる。村からのお知らせは、防災行政アプリでいつでも確認できるようになる。操作が分からないお年寄りのために、アプリが自動でお知らせを読み上げてくれる機能もついている。 豪雨のときに防災無線が聞き取りにくいといった苦情もあったが、アプリによっていつでも防災情報を確認できるようにするため、この問題も解消される。	B	B	11月25日
総務課	企画財政係	33	広域行政の推進	北部5町村による「まちづくり構想」はどのようなものか。 飯田広域消防には大きな負担金を払っている状況だが、負担金の算定はどのように行われているか。	北部5町村で連携して、リニア開業後の地域づくりの構想を策定するものである。豊丘村からは中高校生や大学生、若手社会人を中心に出席し、ワークショップ形式で将来の展望を述べてもらっている。現在、意見の取りまとめを行っており、これらを5町村で連携した今後の地域づくりに生かしていくことになる。 今後、この構想を計画に落とし込んでいく中で、民間活用の活用を検討している。 信州大学の情報学部については、飯田市で誘致を始めたところだが、長野市でも萩原新市長が誘致を表明した。四年制学部はこの地域にはないため、学部ができれば子ども達が地域内で進学でき、大学生が地域内に増えれば経済効果も期待できる。 算定の基礎となるのは、普通交付税の算出に用いられる基準財政需要額のうち消防費の需要額である。飯田下伊那全体で、常備消防に係る経費が18億9千万円となっており、これを各市町村の消防費需要額を基礎に按分することで、負担金を算定している。	B	B	11月25日

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課	リニア対策室	34	高速交通路網の整備	<p>山田地区は工事のダンブがかかり多く通行している。松川町では、道路に人を置いて通行するダンブを監視するとの報道があった。豊丘村ではきちんと監視を行っているか。</p> <p>洞岩寺脇の道(県道長沢田村線)を4tから6tのダンブが通っている状況がある。</p> <p>三遠南信に係る喬木村の構想はどうなっているか。</p> <p>豊丘村は、中段に広域農道、下段に竜東一貫道路があり、南北方向の道路は充実しているが、それらをつなぐ東西方向の道路が弱いと感ぜられる。特に福島線、県道長沢田村線は道幅も狭くカーブが多いため、通行しづらく感ぜられる。</p>	<p>リニア工事に関連する事業者は、現場内の自動販売機に補充のため訪れる飲料業者の車両も全てステッカーを貼り、決められたルートを通ることになっている。リニア工事以外でも、道路改良工事等でダンブが通行していることもある。</p> <p>不安に思われることがあれば、役場に連絡いただき、役場からJRや中電に連絡することもできるのでお知らせいただきたい。</p> <p>工事車面の通行やルートの変更等については、毎月発行している工事便りや、関連する地区の区長、区役員へも情報共有を行っている。</p>	A	B	11月25日
					<p>氏乗地区に設置されるインターから、阿島橋に向かう道路の改良を求め、県道上飯田線改良事業の期成同盟会が立ち上げられた。阿島橋架け替えの要望と合わせ、氏乗インターから阿島橋を通り、リニア新駅、座光寺のスマートインターに繋がる道を整備することを構想として持っているようだ。</p> <p>リニア中央新幹線ももちろんだが、三遠南信自動車道も開通すれば、地域に大きな経済効果があると考えている。現在、青崩トンネルは7割ほど工事が完了している。</p> <p>氏乗インターから広域農道を通って豊丘村へ来てもらえるルートを是非考えたい。</p>			

担当課	担当係	施策番号	施策名	意見等	委員会の際の村からの回答	委員会評価		実施日
						今後の施策の方向性	コスト	
総務課	リニア対策室	34	高速交通路網の整備	<p>佐原線は、中学校周辺から下が拡幅され通行しやすくなっているが、道の駅等の施設に直結していない(まっすぐに行けない)ので、不便を感じる。三遠南信の観光客を呼び込むのであれば、中段からのアクセスの改善を考える必要がある。</p> <p>県道の竜東線(伊那生田飯田線)は狭く、せっかくリニアが来てもつながらない道になってしまうのではと心配している。</p> <p>キャンプ場に向かう一般車両(キャンプ場利用者の車)が、林道をかきかきスピードで飛ばしている場面に遭遇した。自身も非常に危険な思いをしたことがある。工事車両も通る道ではあるが、キャンプ場の利用者にも注意して運転するよう呼びかけしてほしい。</p>			A	
					<p>担当する観光振興係へ伝える。</p> <p>工事着工前にJRと協議を行っており、路面の補修について、現在でもリニアの工事車両が原因であればJRが随時補修している。御手形〜戸中、発生土置場周辺と林道については、殆どがリニアの工事車両の通行によるものであるため、JRに復旧を依頼することを考えている。他の道路については今後協議するが、全てJRの責任とするのは困難と思われる。</p>		B	11月25日